



生徒総会が行われました

前期
生徒会
スローガン

「全進+1up」に向かって

様々な制約の中でも準備を進めてきた生徒会執行部。いよいよその成果を示すべく、4月28日（火）に前期生徒総会を開催しました。

今回は体育館で行いましたが、そこでも間隔を広めにとり、マスクを確実にかけるなど「3密」を避けるための手立てが確実に講じられる中、良い緊張感のもとで整然と会が進行されていたことに感心しました。

「当たり前のことを当たり前にできる吉里中生」「できるを増やし、できるを伸ばそう」「生徒全員でこの学校を創っていこう」という願いを込めて『全進+1up』が前期生徒会スローガンとして掲げられました。さらに活動重点を3つ確認しました。

- (1) 校内、校外でのあいさつを中心とした交流
- (2) 時間意識を持つ（学園共通テーマです）
- (3) 仲間意識を持ち全校で協力する

生徒会執行部は、ただ単に項目を挙げたものではありません。昨年度の活動を通じて成果があったこと、課題として残されたこと、これから目指したいことを十分に協議した上で提案してくれたのでした。いくつかの質問や賛成意見を踏まえて、全校生徒一人ひとりの心に刻まれていたように思います。

そのあとは、これらを基本として、各委員会や各学年委員会が実態に応じて目標や活動内容・計画について提案しました。その都度行われた質疑応答でも、実に多くの前向きな意見が多く、すべての学年から、すべての生徒が発言できていたことも素晴らしいと感じさせられました。「みんなで創る」意識がすでに身についていることを嬉しく思います。

最後の講評では、箱山先生から次のようなお話がありました。

- 議題にもあった「時間意識」が高まってきていることを感じる。スタートが時間通りで、整列完了も早かったです。
- 全員が発言できたこと、特に7年生からの質問・意見が多かったことは素晴らしいと思います。さらに、これまであまりなかった“追加質問”が7年生から出されたことは価値の高いことでした。
- 生徒会執行部、議長、発言者をうまく誘導した8年生の二人は見事！
- みなさんは、議事に対して「承認」しました。「承認」したことはみんなでやりきること。そうすることで話し合いの意義が深まります。



今回の生徒総会では、一人ひとりの責任感を強く感じる事ができました。さらに実行に移し、日々の生活を活気あるものにしてほしいと願っています。

全員で協力して学校を創り上げ、突き進んでいく。そしてこれまでの自分を1つレベルアップさせられるような吉里中生であってほしいものです。



議長の愛末さんと学さん
見事な進行でした

PTA 活動へのご協力をお願いいたします

今年のPTA総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言を受け、開催を見送らざるを得ませんでした。大変心苦しく、申し訳なく思っております。保護者の皆様には規約の改正にご賛同いただき、役員会での承認を持って可決いたしました。十分な議論や説明等ができない中でのPTA活動のスタートとなりますが、何卒ご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。様々なご意見やご要望があたりかと思しますので、ぜひ学校にお寄せいただき議論を重ねながら、子どもたちの健全育成に資することができるよう取り組む所存です。

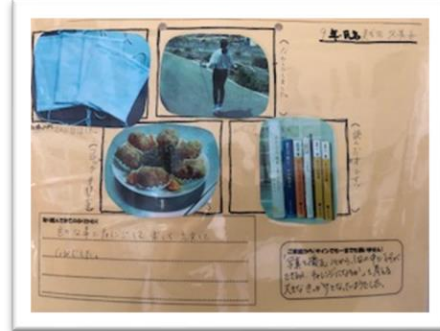
以下は、今年度役員をお願いした皆様です。お世話になります。よろしくお願いいたします。

役職	ご氏名（生徒）＊敬称略	役職	ご氏名（生徒）＊敬称略
会 長	関谷 辰也 （大成）	会計監査	石川 明子 （琉海）
副会長（9年）	山崎紀里子 （瑚々）	会計監査	倉本 奈菜 （美侑）
副会長（8年）	臺野 住相 （愛凜）	PTA 顧問	田中 昭仁 （彩乃）
副会長（7年）	芳賀 康朋 （日和）	7 学年委員長	東谷 里佳 （柚月）
事務局長	岡谷 悦洋 （和花）	7 学年副委員長	塚本 道子 （優夢）
事務局次長	東谷 伸吾 （柚月）	8 学年委員長	臺野 望 （愛凜）
事務局次長	蛸島 茂雄【副校長】	8 学年副委員長	関谷 旭子 （大成）
会 計	佐藤 智美 （修）	9 学年委員長	越田美穂子（久美子）
会 計	門崎 恵 （祐介）	9 学年副委員長	岡谷 幸子 （和花）

※このほかにも総務研修委員・健全育成委員・体験活動支援委員として他の皆様にもご協力いただきます

GWYS 運動

できることを見つけてやってみる
新しい自分を発見する
って 楽しいですね！



感染症予防対策として、「ステイホーム」「おうち時間」など、たくさんのワードが世の中を席巻しています。多少の緩和はあるにしても、依然として制限の多い生活が続いています。しかし、そんなときだからこそ！と、全校でこのゴールデンウィーク中に面白い取り組みをしてくれました。それが「GWYS 運動」です。「(G)ゴールデン(W)ウィークを(Y)有意義に(S)過ごそう」という活動で、その様子をカメラに収めて皆に披露するというものでした。普段はできないこと、これまでに経験しなかったこと、継続して取り組んだことなどについて工夫を凝らして、多くの生徒が紹介してくれました。お互いに、自分自身の発見や仲間の生活の発見につなげていたようです。これからも継続的に実施してほしい、そんなことを思いながら微笑ましく見ることができました。

